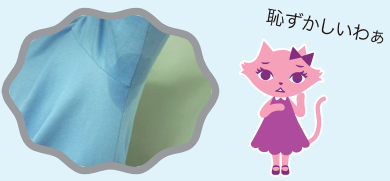


SS商品に
いかがですか!

汗じみ防止(軽減)加工の評価方法を紹介します!



気温が高く蒸し暑い環境で長時間過ごした後、あるいは、スポーツの後等で、脇の下にかいた汗が衣服に吸収されると、汗が付着した部分が濃色になり、目立ちますよね?今回ご紹介する内容は、そんな消費者ニーズを捉えた商品の評価方法です。春夏の企画や製造に向けて今から汗じみ対策を考えてみませんか?



乾燥すれば、元通りの色に戻る為、生地自体が変色している訳ではなく、汗の水分が付着する事で、濃く見えているだけです。でも、恥ずかしく感じますよね?そこで、各社から『汗じみ防止(汗じみ軽減)加工』素材が各種提案されています。



生地裏面に水を滴下後、完全に吸水した時点の生地の表面と裏面の比較

☺ 加工なし生地

裏面 表面

☺ 汗じみ防止加工生地

裏面 表面

加工方法は様々ですが、基本的には、生地裏面は汗(水)を吸収しても、表面は「汗じみ」が目立ちにくくなっています。

汗じみ評価(滴下法)試験方法 <ボーケン法>

「汗じみ評価」と「吸水評価(過度のはっ水加工の有無を評価)」の両方を実施します。

汗じみ評価	吸水評価
<p>①生地裏面に1cm上から水(イオン交換水)を1滴(約0.04ml)滴下する。</p> 	<p>①生地裏面に1cm上から水(イオン交換水)を1滴(約0.04ml)滴下する。</p> 
<p>②滴下後、60秒経過しても完全に吸水しない場合、ガラス棒でよくしみ込ませる。(押しえつけるように吸水させる)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  →  </div>	<p>②判定は、水滴下後、裏面の吸水程度を60秒後にAATCC TM118 [耐炭化水素試験] (はっ油性試験)の判定見本を用いて、吸水性なし(A)か否かを判定する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>判定見本</p>  <p>吸水性あり</p> </div>
<p>③判定は、完全に吸水した直後(吸水評価判定見本のDに相当)に、表面・裏面それぞれの水滴下部分と滴下していない部分の変退色を、変退色用グレースケールにて級数判定する。生地の下側に白台紙と黒台紙を入れ、級数の低い結果で表す。</p>	<p>例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>吸水性なし</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>吸水性あり</p> </div> </div>
<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">試験結果記載例</div> <p style="margin-left: 20px;">変退色(級) 表面/裏面 4-5/2</p>	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">試験結果記載例</div> <p style="margin-left: 20px;">裏面 吸水性あり</p>

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京機能性試験センター 太田・梅田 | TEL:03-5669-1415 / FAX:03-5669-1416
 大阪機能性試験センター 橋本・青木 | TEL:06-6577-0163 / FAX:06-6577-0033